

東京教区時報

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nskkn.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

第1187号
2010年11月28日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 英 久子

◇11月の代禱・信施奉獻先

▽笹島キリスト教連絡会のため
▽滝乃川学園のため▽障害者週間のため(14日〜20日)▽人権活動を支える主日(11月最終主日11・28)

▽ウイリアムズ主教逝去百年の礼拝 2日の初代主教ウイリアムズの日を憶え5日(日)17時から同主教ゆかりの築地・聖路加国際病院聖ルカ礼拝堂でささげる。信仰と生活委員会後援。参加歓迎。照会TEL03(5550)7043・上田憲明司祭。

▽BSA総会(日本聖徒アンデレ同胞会) 4日(土)14時から聖餐式、再宣誓式、総会を三光教会で行う。

▽12月聖路加国際病院礼拝堂
《夕の祈り》 1日(水) 18時

今週・来週の予定

11月28日~12月11日

- 28(日) 降臨節第1主日
城南G教会協議会
人権委員会:エイズ・デー記念礼拝
- 30(火) 人権委員会:日の丸・君が代
- 12月
- 1(水) 信仰と生活委員会:冊子編集
- 5(日) 降臨節第2主日
- 6(月) 分担金制度検討特別委員会
- 7(火) 常置委員会
- 8(水) 聖職養成委員会
- 9(木) 信仰と生活委員会:こども聖歌
- 10(金) 広報委員会
- 11(土) バリアフリーのクリスマスパーティー

半、オルガン演奏に引き続き19時から。演奏者||小野なおみ。
入場無料(会場献金)。
▽12月ランチタイム・オルガンコンサート*聖パウロ||10日(金)、近藤岳 *神田キリス
ト||15日(水)、原田靖子 *
聖テモテ||21日(火)、中村文栄 各々12時20分から30分程度、入場無料。

▽がんばれパレスチナの子どもたち ガザの子どもの絵&古居みずえ写真展。6日(月)〜12日(日)12時〜19時。主催・会場等照会||NPO法人パレスチナ子どものキャンペーンTEL03(3953)1393。
◆とこしえの平安
11月6日 福田 洋子(84)
聖アグネス

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

或る時、教会で私達数人は、伝道の話題
でおしゃべりしていた時の事でした。おじ
いちゃんは私達にこういう話をされました。
「人にはね、誰にも伝道のチャンスが必ず一つは与えられてるのだよ」私達は身を乗り出すようにしてそのお声に耳をすましました。おじいちゃんはそつと指を一本立ててその機会を話されます。
「それはね、その人の葬送式の時、『ああ、あの人のようにわたしも生きたい』という人が後日不思議とあらわれる、それがその人に与えられた一つの伝道の機会。わたしはそういう事を必ずといっていい位知つとるよ」と、あのニコニコ顔で話されたのです。

《み手のなかで》

ふる 旧く、そして新しく

勝田 茄津子

いになられるでしょう!私達の属する池袋聖公会には、若き日に牧会された後、老境に入られてから再び囑託司祭として着任された故福島国五郎先生という方がおられました。再着任された時「わたし達をおじいちゃん、おばあちゃんと呼んでおくれ!」とおっしゃるので、私達はそのままにお呼びすることもありました。勿論お支える司祭は河野裕道司祭、竹内寛司祭がなさっていたのですが…。

私達は子ども達を連れて、よくおじいちゃんのお導きを受けました。その子ども達も成人して…

さあ、このおじいちゃんは誰?とお思

といえはば年月もお解りでしょう。この子ども達の父親はことし7月に、この礼拝堂で葬送式をさせて頂きました。旧くて新しい感謝です。(池袋聖公会信徒)

◇アンデレ大畑喜道司祭、主教
被選者に(11月15日付)。

▽みんなで作るバリアフリ
ーのクリスマスパーティー 12
月11日(土) 13時〜16時(受付
12時45分)、目白聖公会。5
百円。申込締切 4日(定員50
名で締切)。サポートボランテ
ィア募集。外濠教会G・「障
連」共催。信仰と生活委員会後
援。照会・申込 Ⅲ03(381
1) 5836・聖テモテ教会。

▽東京聖マリア教会平和を祈
るクリスマス・コンサート 5
日(日) 14時。品揃え豊富なコ
ンビニエンス・ストアに因んで
命名した、レパートリーの広い
コンビーニ・デイ・コリスタの
演奏。無料(席上献金は精神障
害者生活支援グループ・エヴァ

の働きへ)。照会 Ⅲ03(349
2) 2982・同教会。

▽阿佐谷聖ペテロ教会クリ
スマス・チャリティ・コンサ
ート
ゴスペルコーラス&オルガ
ンの夕べ。11日(土) 16時。千5
百円。照会 Ⅲ03(3338) 4
145・同教会。

▽第30回教会音楽祭テーマ曲
募集 11年6月19日、東京カテ
ドラル聖マリア大聖堂で開催さ
れる超教派「教会音楽祭」で用
いるため、すでに採用が決定し
たテーマ曲「光」の歌詞の作曲
を募集。採用作品3歌詞に1人
1作品の応募規定。締切 11年
2月末日。提出先 日本聖公会
東京教区事務所礼拝音楽委員会
宛。詳細照会 Ⅲ03(3398) 2
104・音楽祭担当(小海宛)。

《今、この教会では…》

東京諸聖徒教会

建物・施設の老朽化により、
諸聖徒幼稚園が休園することに
なりました。その後の将来計画
について、「沖へこぎ出すため
の具体策策定委員会」が調査や
検討を行っています。

東京教区の他の幼稚園、保育
園との連携を検討する一方、文
科省・厚生省が推し進めている
幼稚園と保育園が一体化された
「こども園」(仮称・平成25年
度創設予定)構想について、状
況を注視しています。今後は、
礼拝堂と幼稚園、それぞれの施
設の建て替えについて、法的な
規制や資金計画など、信徒全員
でのディスカッションを深めて
いく予定です。(金木幸史)

【クローズアップ】68

「シリーズ礼拝の学び①

葬儀を学ぶ、葬儀に学ぶ」報告

私も何時の間にか後期高齢者
と呼ばれる歳になった。教会の
葬儀には、特別な役割もなく漠
然と参加していたが、次第に自
分の葬儀の時は…と考えること
が増えてきた昨今なので「葬儀
について学ぶ」という研修会の
案内を見て、興味を抱いて参加
した。

当日のナザレ修女会の会議室
は約50名の参加者で溢れ、午前
の第1部では、三光教会の高橋
宏幸司祭が通夜まで、午後の第
2部は真光教会の鈴木裕二司祭
が埋葬までを、それぞれ祈禱書
を中心に講義された。

お二人ともユーモアたっぷり

に、そして細かい史実の紹介等
を交えたお話に、私たちは「目
からうるこ」であったり、司祭
様の人知れぬ御苦勞に深く頷い
たりの連続で、あつという間に
時間が過ぎ、夕の礼拝をもって
意義深い研修会を終えた。

この年になっても、先生のジ
ョークや脇道の話ばかり覚えて
いて本題を忘れがちな学生気質
が抜けきらない私であるが、お
二人の先生が強調されたキリス
ト教では、死を迎えたときの葬
儀が人生の最後の別れの儀式で
はなく、人生の節目にあたって
の「通過儀礼の一つ」としての
儀式として捉えているというお
話が印象深く残った。

もう一つは、これまで我々は

祈禱書に記されている小文字の
ルブリックを如何に「斜め読
み」にしていたかということ
だ。あの数行にこれまでの数百
年の間にその時代に応じた変革
や変遷があつて生まれてきたも
のが多く潜むことを伺い、もつ
と学びたくなった。

講義の後、質疑応答が行われ
たが、現代の世相を反映する関
連質問も多くあり、考えさせら
れた。自殺者や独居者の葬儀法
や散骨などである。

最後に「自分の葬儀、家族の
葬儀をどのようにしてもらえ
たいですか？」という難しい
宿題を頂き、肌寒くなってきた
秋の家路を急いだのである。

聖パトリック教会信徒

須永韶夫